



～別宮の棚田保全活動～

神戸大学生と地域住民協働による稲刈りを実施

農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されている「別宮の棚田」の保全活動として、2025年9月27日（土）14時から養父市別宮地内の農地で、神戸大学の学生と別宮地区住民協働の稲刈りを実施します。

高齢化する地域農業の一翼を担うため、神戸大学の学生が実際に農地を訪れ、地元住民と協力して棚田の保全活動を行い、その様子を SNS 等で発信することで「別宮の棚田」を多くの人に知ってもらい、新たな担い手確保や美しい棚田の景観の保持につなげることを目的としています。



（今年5月の田植えの様子）



（今年6月の作付地内草取りの様子）

市では、「棚田地域振興法」が2019年に施行されて以降、様々な取組に着手し、市内の棚田保全に努めています。しかし、高齢化等による農業の担い手不足は依然課題であり、特に地形的に生産条件の悪い棚田は荒廃が徐々に進行しています。

2023年度から別宮地区では、神戸大学の農学部の学生を中心に設立された地域おこしサークル「水芭蕉」の部員たちと連携し、棚田の保全に取り組む事業を開始しています。

2025年度はこれまで5回訪れ、耕うん・田植え・草取りなどの活動を行いました。今後は、収穫したお米の大学祭での販売、荒廃農地の新規開墾などの活動を予定しています。また、SNS等を通じ、積極的な情報発信も行っています。

【稲刈り作業の概要】 ※雨天のときは変更する場合があります

日 時：2025年9月27日（土）14時から

場 所：別宮の棚田内ほ場（養父市別宮1375番）

参加者：神戸大学の学生 5人程度（現在募集中のため増員の可能性有り）
別宮区住民 10人程度

作業面積：約5a

※取材の際、車は「かつら公園駐車場」に駐車してください（別紙参照）

【問合せ】

産業環境部 農地政策課 課長：岸 敬悦 担当者：城戸 優臣

電話：079-664-1450

(別紙)

